

議会かほく

vol.90
2026.5.1



予算
条例改正
議案の審議結果
研修レポート
一般質問(8人)
議会日程・傍聴案内

2
6
8
11
12
20

喜多家のしだれ桜前
(説明は裏表紙)

発行日/令和8年5月1日

編集/かほく市議会広報特別委員会

ホームページ: <https://www.city.kahoku.lg.jp>
住所/石川県かほく市野宮1-81番地

Eメール: gika@city.kahoku.lg.jp
TEL: (076) 2803-7129 FAX: (076) 2803-7188

令和8年 第2回かほく市議会定例会のお知らせ(6/8~6/25)

日	月	火	水	木	金	土
6/8	初日	9	10	11	12	13
	10:00 本会議 (議案説明ほか) 全員協議会 予算決算常任委員会		9:00 議会運営委員会			
14	15	16	17	18	19	20
		議会運営委員会 10:00 本会議 (一般質問) 広報特別委員会	10:00 本会議 (一般質問)	9:00 総務建設常任委員会 総務建設分科会	9:00 教育福祉常任委員会 教育福祉分科会	
21	22	23	24	25		
		13:30 予算決算常任委員会 議会運営委員会		10:00 本会議 (討論、採決ほか) 全員協議会		

議会からのお願い

議会だより作成のため、腕章を着用した議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。



議会を傍聴しませんか！

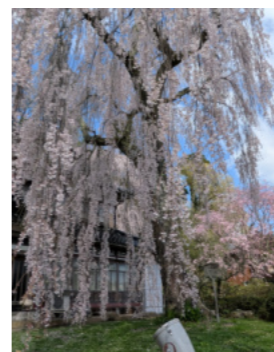
議会ではどんなことが議論されているのか、本会議・常任委員会などを傍聴してみませんか。どうぞ、お気軽にお越しください。傍聴の定員は、本会議は30人、各常任委員会・全員協議会は8人です。(受付順)



本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。

表紙のお話し

かほく市宇ノ気周辺で「しだれ桜」といえば、喜多家しだれ桜が代表的な名所です。およそ130年前、1895年(明治28年)、喜多家15代・善兵衛氏が金沢・兼六園から種子を持ち帰り育てたのが始まり。高さ約13メートル、幹回り約2.5メートル、枝張11メートル。1本の大木が滝のように枝を垂らし、満開時は圧巻です。今年も市内外からたくさんの方々が訪れています。4月3日、好天にめぐまれ、市内から、訪れたご家族4人です。(S.T.)



広報特別委員会

委員長 長柄 正一
副委員長 杉本 裕
委員 橋川 章
委員 高井 篤志
委員 金田 平夫
委員 野田 稔彦
委員 高橋 成典
委員 杉本 正一
委員 長柄 裕



「議会だより」を
スマホで読む！

※議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

※印刷コスト 1部 28円(発行部数 13,250部)

能登半島地震からの復旧・復興

- 災害からの復旧・復興工事 17億410万円
- 災害対策事業 6億7,694万円
- 被災地区地籍調査事業 4,000万円
など



○能登半島地震復興チャリティーコンサートの実施 1,500万円

地域資源を活かした活力あるまちづくり

- 若者マイホーム取得奨励金 1億円
- 新婚さん住まい応援事業 2,214万円
- 有害鳥獣駆除事業 335万円
- かほく四季まつり事業の展開 2,400万円
- ふるさと納税寄附金事業 2億3,750万円
など



○博物館機能の充実・強化 4,592万円

子どもも大人も共に学び育つまちづくり

- 本庁舎に授乳室・搾乳室を設置 78万円
- 小学校水泳授業への指導者派遣 26万円
- 小中学校トイレ清掃の専門業者委託 444万円
- 外日角小学校学童保育クラブ棟改修 743万円
- 宇ノ気小学校普通教室、職員室等改修 2億1,088万円
- 小中学校の電話に通話録音機能を追加 108万円
など



○全小中学校に防犯カメラを設置 840万円

誰もが健やかで活気に満ちたまちづくり

- あらゆる世代の健康づくり事業 476万円
- 高齢者等地域支え合い事業の実施 977万円
- 市史編さんの推進 2,870万円
- 体育施設の維持管理、整備 2億3,678万円
など



○経鼻弱毒生インフルエンザワクチン接種助成 130万円

安全・安心に暮らせるまちづくり

- 避難所情報スマート連携推進事業 217万円
- 住宅耐震シェルター等設置事業 180万円
- 市公式LINE配信体制の見直し 43万円
など



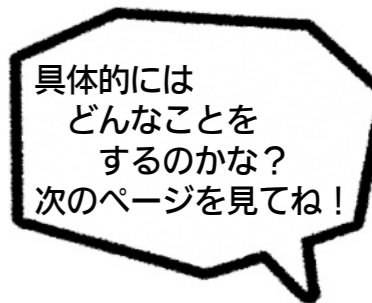
○防災行政無線改修工事(高性能スピーカーに変更) 2億4,800万円

令和8年第1回定例会

会期/2月25日~3月18日

令和8年度当初予算を可決 総額339億4,950万円 (前年比6.2%増)
住んでよかったと思えるまち、住みたくなるまちを目指す

会計名	令和8年度当初予算	伸び率
一般会計	208億5,300万円	6.3%
特別会計	市営バス事業	2,860万円 90.7%
	墓地	1,520万円 60.0%
	国民健康保険	31億7,000万円 ▲0.5%
	後期高齢者医療	6億7,380万円 8.9%
	介護保険	35億7,900万円 3.6%
企業会計	大海財産区	93万円 47.6%
	水道事業	16億8,744万円 10.0%
	下水道事業	39億4,153万円 14.7%



かほく市マスコットキャラクター「にゃんたろう」

●一般会計を家計簿に置き換えてみました。(年間500万円支出する家庭に例え算出)

収入	金額	対応する予算
給料	277万円	
うち基本給	274万円	市税、地方交付税
うち諸手当	3万円	地方譲与税
アルバイト収入	6万円	使用料及び手数料分担金及び負担金
雑収入	24万円	諸収入など
親からの仕送り	143万円	国庫支出金、県支出金、地方消費税交付金など
銀行からの借入れ	30万円	地方債(市債)
貯金の取り崩し	20万円	基金繰入金
収入合計	500万円	
借入金の残高	518万円	市債残高(一般会計分)
貯金の残高	158万円	基金残高

支出	金額	対応する予算
食費	109万円	人件費
生活費(光熱水費・雑費)	173万円	物件費、補助費、維持補修費など
ローンの返済	59万円	公債費
家の増改築	50万円	普通建設事業
子どもへの仕送り	22万円	他会計への繰出金
医療費・介護費	70万円	扶助費
雑支出	0万円	投資及び出資金
定期預金	7万円	積立金
その他の支出	10万円	貸付金など
支出合計	500万円	

単純に比較できない部分もありますので、参考としてみてください。

事業注目と

議審算予

予算議案を審査し、多くの質疑、提案を行いました。その中の主な質疑と注目事業を報告します。

能登半島地震からの復旧・復興

地域コミュニティ施設
再建補助
660万円

坂井議員 地域コミュニティ施設等再建支援補助金の対象は何か。

総務課長 今回は神社が対象。集会施設については、発災直後に別の補助金で全て修繕済みである。

震災復興チャリティコンサートの実施
1500万円

野田議員 震災復興チャリティコンサートの定員を超えた場合の対応は。

地域創生課長 応募多数の場合は抽選とする予定。

地域資源を活かした活力あるまちづくり

ふるさと納税寄附金事業
2億3750万円

長柄議員 ふるさと納税の返礼品が新たに追加された理由は。

総務課長 主要な製造工程（価値の5割以上）が、かほく市内の業者で製造されており、国の地場産品基準を満たしているため。



令和7年度に追加となった返礼品(抜粋)

空き家等対策補助金
750万円

高橋議員 空き家の登録件数（約700件）と水道未使用件数（約300件）は重複していないのか。

防災環境対策課長 一部重複はあるが精査が必要。毎年9月に町内会からの報告に基づき台帳を更新している。

子どもも大人も共に学び育つまちづくり

学童保育クラブの運営
2億619万円

塚本議員 学童保育クラブ「おひさま」が仮設対応となる理由と、新・増築が相次ぐ状況について。

こども家庭課長 宇ノ気・外日角地区での転入増により、預け入れ率が急増（1年生の約8割）し、高学年の利

用も減らないため。転入状況に合わせた柔軟な対応に努めている。



新築される宇ノ気学童保育クラブ(完成予想図)

小中学校の電話に通話録音機能を追加
109万円

竹内議員 学校のカスハラ対策（録音機設置）も良いが、先生のメンタルケアや管理職による指導・相談体制が重要ではないか。

学校教育課長 指導主事による研修や「いじめ対策チー

ム」での初動対応共有を徹底している。

新任教員には指導役をつけるなどの配慮も行っている。



市内小中学校の電話に通話録音機能を追加

誰もが健やかで活気に満ちたまちづくり

西田幾多郎記念哲学館の魅力向上
1億23334万円

塚本議員 西田幾多郎記念哲学館のインバウンド対応

（音声ガイド導入）の現状は。

生涯学習課長 市外からの来館者の約11%が外国人。現在は英語・中国語・韓国語だが、ドイツの姉妹都市等も考慮し、他言語の追加も検討していく。



展示ガイドアプリを導入へ

安全・安心に暮らせるまちづくり

防災行政無線改修工事
2億4800万円

坂井議員 防災行政無線のスピーカーを減らして（54基↓43基）確実に届くのか。



除雪機で市内道路を除雪

生活道路の維持改修
6億4188万円

高橋議員 消雪装置の配管や井戸の改修目安は。

都市建設課長 井戸は概ね20年で調査・点検を行う。配管は漏水や揚水状況に応じて適宜改修している。

除雪管理体制の充実
5133万円

坂井議員 通学路等の歩道

防災環境対策課長 高性能スピーカーは一方方向への伝達能力が高く、遠方までクリアな音を届けられるため問題ない。

杉本正一議員 スピーカー設置箇所の削減は現場を確認して決定したのか。

地域政策部長 実施テストと設計に基づき、人口ではなく「エリア全体」をカバーするよう設定している。

除雪を市で強化できないか。

都市建設課長 現在は市が除雪車を貸し出し、町内会のボランティアが学校周辺をメインに実施している。全路線の実施は困難だが、状況を見極めたい。

杉本正一議員 除雪業者の技術向上に向けた講習などは考えているか。

都市建設課長 オペレーターの世代交代もあり、パトロールによる指導や講習会の検討を進めていく。

条例・その他議案を審査し、多くの質疑、提案を行いました。その中の主な質疑と注目議案を報告します。

条例

◆議案第24号

特定乳児等通園支援事業の運営の基準を定める条例の制定

親の就労に関わらず子供を預けられる「誰でも通園制度」の、具体的な運営ルール(定員や面談など)を定めるもの。

塚本議員 「誰でも通園制度」

の実施にあたり、保育士の確保やファミリーサポート(ファミサポ)との棲み分けはどのようなのか。

こども家庭課長

七塚子育て支援センターで実施し、必要に応じて「保育サポーター」を雇い人員を確保する。

本制度は「集団経験」を目的とし(月10時間・300円/時)、保護者の私用目的であるファミサポ等(700~800円/時)と適切に使い分けてもらう。



議案第27号

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

職員駐車場の無償化と、民間駐車場利用への手当(最大5000円)を新設。また、通勤距離の上限を「100キロメートル以上」まで広げ、手当の最大額を引き上げるもの。

議案第29号

後期高齢者医療に関する条例の一部改正

後期高齢者医療保険料の計算を年1回にまとめ、支払い回数を年12回から9回に変更する仕組みの簡素化するもの。

後期高齢者医療に関する条例の一部改正

野田議員 通勤手当の区分に追加された「100キロメートル以上」に該当する職員は現在いるのか。

議案第28号

国民健康保険税条例の一部改正

令和8年度の標準料率に基づき国民健康保険税を改定し、新たに「子ども・子育て支援金」の徴収を開始する。

また、高所得者の課税限度額を引き上げる一方で、低所得者の軽減判定基準を緩和し、中間・低所得世帯の負担に配慮するもの。

橋川議員 支払い回数削減により「金額が上がった」と感じる方に対し、丁寧な説明を徹底してほしい。

保険医療課長

対象者に対して丁寧な説明に努める。

◆議案第31号

火災予防条例の一部改正

簡易サウナ(テント型・バレル型)の安全基準の新設と、能登半島地震を踏まえた感震ブレーカーの普及促進を定めるもの。

丸井議員

市内における簡易サウナ(家庭用や店舗用)の設置状況と、火災対策の現状は。

予防課長

改正対象となる簡易型や薪式テント型の設置は現在市内にない。既存のサウナ付き宿泊施設(2か所)については、立ち入り検査により非常ベルや扉の安全性を確認済みである。

その他

◆議案第21号

第3次総合計画の基本構想及び基本計画の策定

「海とみどりに抱かれた、魅力と活力あふれるまち」を基本理念に掲げ、厳しい財政状況下でも積極的なまちづくりを進めるための市の最上位指針である「第3次総合計画」を策定するもの。

◆議案第33号

市道の路線認定

高松地区南部、カジマート近隣の民間宅地造成に伴い整備された延長約149メートルの道路の寄附を受けて新たに市道高松175号線として認定するもの。

◆議案第36号

訴訟上の和解

コロナワクチン業務に従事した管理職職員からの未払い残業代請求に対し、和解解決金330万円を支払うことで早期和解を図るもの。

市道の路線認定

宇野気駅北西エリアでの民間開発による宅地造成に伴い、帰属を受けた外日角62号線(延長約231メートル)・63号線(延長約65メートル)の2路線を新たに市道として認定するもの。

高橋議員

和解条項にある職場環境改善の指摘にどう対応するのか。

総務課長

和解条項は人事管理の基本姿勢を改めて示されたものと受け止め、適正な職員配置や職場環境の整備に引き続き努める。

高橋議員

路線認定(議案第33号・34号)に係る開発地域の土地売買価格(単価)は。

都市建設課長

高松地区(33号)は平均坪13万円前後(6区画成約)、宇野気駅近くの開発行為地区(34号)は坪19万~23万円(4区画成約)である。

テント型サウナ



バレル型サウナ



議案の審議結果

番号	件名	結果
条例の制定・一部改正		
議案第22号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について <small>法律の条項番号を変更</small>	原案可決
議案第23号	公職選挙法施行令の一部を改正する政令等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について <small>選挙運動用ポスター及びビラの作成の公費負担限度額の引き上げ</small>	原案可決
議案第24号	特定乳児等通園支援事業の運営の基準を定める条例の制定について <small>こども誰でも通園制度の新たに運営に必要な基準などを定める</small>	原案可決
議案第25号	ケーブルテレビネットワーク施設条例等の一部を改正する条例について <small>ケーブルテレビ事業特別会計及びケーブルテレビ施設整備基金を廃止</small>	原案可決
議案第26号	消費生活センター設置条例の一部を改正する条例について <small>消費生活センターの位置を宇ノ気保健福祉センター内へ変更</small>	原案可決
議案第27号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について <small>駐車場等の利用に対する通勤手当を新設</small>	原案可決
議案第28号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例について <small>保険税率の改正</small>	原案可決
議案第29号	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について <small>仮算定を廃止し、保険料額の計算内容を分かりやすくするもの</small>	原案可決
議案第30号	介護保険条例の一部を改正する条例について <small>令和8年度の保険料率の算定に関する特例を定める必要があることから、所要の改正を行うもの</small>	原案可決
議案第31号	火災予防条例の一部を改正する条例について <small>簡易サウナ設備の基準を定めるなど、所要の改正を行うもの</small>	原案可決
議案第32号	育英基金条例を廃止する条例について <small>かほく市奨学資金は、一般財源を活用し、支給を継続していくため、育英基金を廃止</small>	原案可決
その他		
議案第21号	第3次総合計画の基本構想及び基本計画の策定について <small>総合計画の基本構想及び基本計画について、議会の議決を求めるもの</small>	原案可決
議案第33号	市道の路線認定について <small>市道高松175号線として、新たに認定</small>	原案可決
議案第34号	市道の路線認定について <small>市道外日角62号線及び63号線として、新たに認定</small>	原案可決
議案第36号	訴訟上の和解について <small>本市職員1名を原告、本市を被告とした残業代金等請求事件の訴訟について、和解を行うもの</small>	原案可決
同意第1号	公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて <small>公平委員の任期満了に伴い、松橋伸治を引き続き選任するもの</small>	原案同意
同意第2号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて <small>固定資産評価審査委員の任期満了に伴い、新たに小池田勝氏を選任するもの</small>	原案同意
同意第3号	教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて <small>教育委員の任期満了に伴い、竹中健司氏を引き続き任命するもの</small>	原案同意
同意第4号	教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて <small>教育委員の辞職に伴い、新たに南由氏を任命するもの</small>	原案同意

※主な審査内容については、4ページから7ページに掲載しています。

番号	件名	結果
令和8年度 予算		
議案第4号	一般会計予算 208億5,300万円 <small>能登半島地震復興基金への積立や大崎地区の再液化化防止対策にかかる実証試験の委託費の減額、防災行政無線の更新、各施設の長寿命化対策工事、児童数の増加による小学校の改修</small>	原案可決
議案第5号	市営バス事業特別会計予算 2,860万円	原案可決
議案第6号	墓地特別会計予算 1,520万円	原案可決
議案第7号	国民健康保険特別会計予算 31億7,000万円 <small>国民健康保険事業調整基金からの繰入れをし、保険税の上昇幅を抑えたうえで、保険税率を見直す</small>	原案可決
議案第8号	後期高齢者医療特別会計予算 6億7,380万円	原案可決
議案第9号	介護保険特別会計予算 35億7,900万円	原案可決
議案第10号	大海財産区特別会計予算 93万円	原案可決
議案第11号	水道事業会計予算 収益的収入7億8,115万6,000円 収益的支出7億4,732万7,000円 <small>災害復旧に係る費用、施設の長寿命化対策や防災、減災対策などに計画的に取り組むもの</small>	原案可決
議案第12号	下水道事業会計予算 収益的収入13億8,729万9,000円 収益的支出17億6,844万円 <small>災害復旧に係る費用、施設の長寿命化対策や防災、減災対策などに計画的に取り組むもの</small>	原案可決
令和7年度 補正予算		
議案第1号	一般会計補正予算(第8号) 6億円増額 <small>低所得世帯、高齢者、子育て世帯への現金給付、水道基本料金の無償化、プレミアム付商品券</small>	原案可決
議案第2号	水道事業会計補正予算(第3号) 営業収益4,800万円減額 営業外収益4,800万円増額 <small>水道基本料金の無償化にかかる歳入予算の財源組み替え</small>	原案可決
議案第3号	一般会計補正予算(第9号) 2,300万円増額 <small>衆議院議員総選挙経費</small>	原案可決
議案第13号	一般会計補正予算(第10号) 1億3,300万円増額 <small>寒波に伴う除雪費用</small>	原案承認
議案第14号	一般会計補正予算(第11号) 1億5,600万円増額 <small>若者マイホーム取得奨励金、学童保育クラブ・外日角小学校の備品、消雪設備の新設など</small>	原案可決
議案第15号	墓地特別会計補正予算(第2号) 318万5,000円増額 <small>永代使用料の増額</small>	原案可決
議案第16号	国民健康保険特別会計補正予算(第2号) <small>実績見込みに伴う精算補正</small>	原案可決
議案第17号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 2,462万3,000円増額 <small>実績見込みに伴う精算補正</small>	原案可決
議案第18号	介護保険特別会計補正予算(第2号) 3,612万3,000円増額 <small>実績見込みに伴う精算補正</small>	原案可決
議案第19号	水道事業会計補正予算(第4号) 資本的収入3,740万円減額 資本的支出1億260万円増額 <small>災害復旧に係る経費の精算補正</small>	原案可決
議案第20号	下水道事業会計補正予算(第4号) 収益的収入1億3,900万円減額 <small>下水道施設の長寿命化対策事業を見直し、災害復旧に係る経費の精算</small>	原案可決
議案第35号	一般会計補正予算(第12号) 440万円増額 <small>訴訟における和解解決金、訴訟費用</small>	原案可決

予算

条例

審議結果

研修レポート

一般質問

議会日程

予算

条例

審議結果

研修レポート

一般質問

議会日程

高橋 成典

議案6件の反対

● 地方税共同機構負担金、県央地区地方税滞納整理機構負担金は、市税等の滞納整理に特化した組織である。

● 「市税等のコールセンター」は、市税等滞納者の情報を民間業者に渡すことは、市民の個人情報保護からしても問題である。

● 国民健康保険税は、所得割の引き上げと、均等割3700円、平等割1400円の値上げである。国保の平均保険料は、4人世帯の場合、本人負担額は同じ年収の社会保険料の約2倍である。

● 後期高齢者医療特別会計予算は、一人平均、年1万5995円の値上げである。

● 特定乳児等通園支援事業の運営の基準を定める条例に反対。

● 下水道事業会計予算は、4月から市の下水道料金の使用料単価、基本料金を20㎡で現行の(月)

2220円を2640円に420円、18.9%の大幅な値上げである。

長柄 裕

全ての議案に賛成

新年度予算は「能登半島地震からの復旧・復興」を最優先としつつ、次期総合計画の初年度として未来への投資を両立させた内容である。

具体的には、防犯カメラ設置等の安全対策、宇ノ気・外日角小の増築、重層的支援体制の整備など、5つの重点施策に必要な事業が十分に盛り込まれている。

「ことも誰でも通園制度」の基準制定や国保税率の改定、職員の通勤手当改善などの条例案も、行政サービスの維持と財政安定化のために妥当な判断である。

11年連続の人口増を維持し、持続可能なまちづくりを推進するために不可欠な予算・議案であると高く評価し、賛成する。

高橋 成典

市職員の「残業代金等請求」330万円で和解賛成

令和6年4月に市職員が市を相手に「残業代金等請求」で訴え、今回、市が330万円を支払うことと確定。

和解文書では「被告の市は、職員の勤務時間を適切に把握し、特定の職員の業務負担が過重にならないよう、長時間勤務が多い部署や職員は、その要因の整理・分析・検証を行うとともに、今後より良い職場環境の整備や働き方改革を意識した職場環境の整備等に関する計画を策定・周知し、実施に努めると、市側に、長時間勤務等の改善を求めている。現職の職員の勇気ある訴えを認めた。今後は、和解文書で具体的に指摘された、問題点の改善策の実現に努め、より一層、風通しの良い、職場環境の実現に努力することとを求める。

議決結果で賛否が分かれた案件

件名	橋川 章	高井 篤志	金子 平夫	長柄 裕	池田 義治	中川 康弘	塚本 佐和子	野田 稔彦	丸井 一範	金子 猛	坂井 正毅	高橋 成典	杉本 正一	竹内 幹雄	杉本 成一
令和8年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
令和8年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
令和8年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
令和8年度下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
特定乳児等通園支援事業の運営の基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

※ ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 金子猛議員は議長職のため採決には加わりません。

研修レポート

予算決算常任委員会

信頼される議会を目指す

コンプライアンス研修

2月10日、かほく市役所において予算決算常任委員会の議員研修会が開催されました。

講師に元全国都道府県議会連合会事務局次長の内田一夫氏を迎え、「議員のコンプライアンス」『やるべきこと』『やってはいけないこと』と題して、議員が遵守すべき倫理やルールについて学びました。

内田氏は政務活動費や議会の危機管理に関する著書を多数執筆されている専門家です。講義では、近年社会的な関心が高まっている「ハラスメントの防止」や、情報発信における「SNS活用の注意点」、さらには「政務活動費の適正な運用」や「寄附の禁止」など、多岐にわたる項目について具体的な



議員研修会の様子

事例を交えて解説されました。特に、住民の皆様への信頼に応えるためには、法令遵守はもちろんのこと、常に高い倫理観を持つことが活動し、透明性を確保することが不可欠であると指摘されました。質疑応答では、実務上の留意点について活発な意見交換が行われ、参加した議員は公職者としての責任の重さを再認識しました。今回の研修は、より一層クリーンで開かれた議会運営を実現し、市民の期待に応えていく極めて貴重な機会となりました。

一般質問 あなたの声を市政に

各ページの「二次元バーコード」をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問を動画でご覧になれます。

※機種によりご利用いただけない場合があります。
※視聴にかかる通信料等の費用は、ご自身の負担となります。
※動画の保存期間は、概ね1年間です。

ページ	質問事項	質問者
12	境界構造物の移設・撤去補助とは ほか	野田 稔彦
13	七窪再液状化対策の進捗状況及び今後の予定は ほか	橋川 章
14	カスタマーハラスメント対策は ほか	塚本佐和子
15	地球温暖化防止施策の事例を問う ほか	中川 康弘
16	ハラスメント対策としての第三者機関設置は	坂井 正毅
17	市の防災資機材整備は ほか	高橋 成典
18	観光資源の活用と誘客促進策は ほか	高井 篤志
19	避難所の鍵ボックス設置の詳細は ほか	池田 義治

問者席



野田 稔彦

質問 1

境界構造物の移設・撤去補助とは

調査後の境界が異なれば、構造物移設等を支援

Q 地籍調査を円滑に行うため、境界構造物に対して移設等支援する補助制度が創設される予定と伺っている。

A 被災者に対して、どのような内容の補助を、どのように実行するのか。

A 市長 既設の境界構造物と、調査後の境界が「異なる事態」が生じた場合、境界構造物の移設等の費用に対して最大100万円を補助する。

必要に応じて令和9年度の補正予算も活用し、スピード感を持って復旧・復興を進めていく。

質問 2

空き地増加に伴う住環境の保護は

新たなルール策定は行わず、個別事案ごとに都度対応

Q 公費解体がおおむね完了し、住宅密集地に多くの「空き地」が出現したことで、管理や利用を巡る新たな地域課題が表面化している。

A 準工業地域であるため、建設資



空き地の適切な利用を

材置き場や産廃処理場としての活用も予想されるが、住宅に隣接する場合、住環境の保護をどのように行うのか。

A 産業建設部長 新たなルールや基準の策定は考えてないが、情報が寄せられた場合には、事業者への確認や必要な改善を働きかけするなど、良好な住環境の維持につなげている。

質問 3

課税標準を軽減する特例措置の延長は

令和10年度以降も延長を要望

Q 再建を断念した高齢世帯や、再液化化への懸念から更地のまま所有し続けるケースもある。住宅解体後も被災地に限って「固定資産税の特例」を継続するよう国に要望できないか。

A 産業建設部長 国による特例措置は、現在令和9年度まで延長される予定となっている。

令和10年度以降も引き続き特例措置が延長されるよう、国に対し継続して要望を行っていく。

本頁は、質問者本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています

一般質問



橋川 章

質問 1

七窪再液化化対策の進捗状況及び今後の予定は

5月に対策工法案を取りまとめる予定

Q かほく市液化化対策工法技術検討委員会で七窪地区を対象とした様々な検証が行われている。

A 検討状況及び液化化対策の今後のスケジュールは。

B. 今後のスケジュール

今後のスケジュールを以下に示す。

予定月	進行
令和8年2月	第2回検討委員会
令和8年3月~4月	2次元浸透流解析の検討 集排水管基本配置・深度の決定
令和8年5月頃	第3回検討委員会 (対策計画の決定) 対策工の詳細設計

住民説明 (対策工実施の合意)

今後のスケジュール

A 市長 これまで2回の委員会を開催し、地域特性や国の補助事業としての採択要件を考慮した結果、地下水位低下工法が最適工法であるとの方針を確認した。5月に開催を予定している第3回委員会で最終的な対策工法案を取りまとめ、できるだけ早い時期に住民説明会を開催したい。

A 産業建設部長 緊急銃猟制度に対応し、危険鳥獣が出没した際に複数の手段の中から適切な方法を選択し、事前準備から実施・原状回復に至るまでの流れを従事する各担当者が理解しやすいよう定めたもの。

A 地域住民への人的被害を防ぐうえでも、危険鳥獣への対応に関して猟友会をはじめ関係機関との協力は大変重要であると考えており、今後も本マニュアルに基づき、より一層の対策強化に努めたい。

質問 2

緊急銃猟の手順書については

かほく市ツキノワグマ等出没対応マニュアルを作成

Q かほく市ツキノワグマ等出没対応マニュアルとはどういった目的で何を定めるものか。

Q 緊急銃猟を行う際の安全確保や、関係機関との連携をどのように考えているか。

A 新年度早々に本マニュアルを基にした訓練を考えており、関係機関との対応手順の確認を通して、より緊密な連携体制と安全確保の強化に努めたい。

Q 猟友会との連携はとても重要だと考えるが、かほく市として猟友会との連携をどのように考えているか。



緊急銃猟安全確保措置イメージ

本頁は、質問者本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています

議会映像



つかもと さわこ 塚本 佐和子

質問 1

カスタマーハラスメント対策は
ハラスメント改訂マニュアルにカスハラを追加する

Q 近年増加しているカスタマーハラスメント(カスハラ)に対する取り組みについて。全国ではカスハラ防止の基本条例や方針を設ける動きが加速している。

A 本市においては当初予算において、市内小中学校での電話対応の対策が予算計上されている。また、今年6月には法改正が行われ企業等にはカスハラ防止のため、雇用管理上必要な措置を講じることが義務付けられる。

自治体職員に対して、総務省のアンケート結果では、過去3年間にカスタマーハラスメントを受けた経験(受けたと感じた経験も含む)があると回答した自治体職員は35%である。

本市のカスハラ事例と今後のカスハラ対策の取り組みを問う。

A 市長 本市のカスハラ事例について統計は行っていないが、窓口や電話対応が多い部署では、外部の方から言動の内容が社会通念上、許容を超えるものが実際にあると聞いている。

今後のカスハラ対策は国や他の自治体の先行事例を踏まえ、来年度に整備するハラスメントに関する改訂マニュアルの周知活用、カスハラに対するスキルを身に付ける職員研修を実施する。

Q 自動音声機能電話機は市役所にも必要ではないか。

A まずは小中学校から導入して効果を整理し、市役所への導入を検討する。

自動指令や車両・水利の位置把握、活動記録の共有などが可能な多機能アプリであり、消防団の課題解決や地域防災力の強化に有効であると認識している。

導入については、消防庁でも消防団DX化を推進している。

消防団員の災害対応機能力向上、負担軽減に繋がることから、今後、消防団と協議して将来的な実現に向けて取り組む。

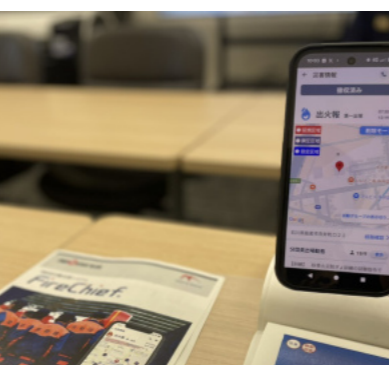
質問 2
消防団アプリの導入計画は

将来的な導入を検討

Q 消防庁では、常備消防や消防団の効果的な活動や緊急消防援助隊の迅速な活動を実現するため、DXを推進している。

消防防災分野の利便性向上や、事業者の効率化に資するDX施策も進めているが、消防団アプリを、どのように考えているか。また、消防団アプリ導入の予定はあるのか。

A 消防長 消防団アプリは、出



消防団アプリの一例

本頁は、質問者本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています

一般質問

議会映像



議会映像



なかがわ やすひろ 中川 康弘

質問 1

地球温暖化防止施策の事例を問う
太陽光発電は補助制度創設から739件の交付

Q 地球温暖化防止施策の事例や今後の計画を聞く。

A 市長 太陽光発電システムなどの住宅への設置については、補助制度創設から739件の交付を行っている。今後も補助制度を継続し個人住宅、民間事業者への啓発を行う。

Q 公共施設のLED化率は、どのくらいか。

A 市が管理する防犯灯や道路照明は、約95%。公共施設の照明設備は16%である。

Q 2030年までの再生可能エネルギー導入率の数値目標と事例を聞く。

A 太陽光発電システムの戸建て住宅への設置割合は、計画策定時の4.5%から、目標を15%に引き上げ、民間事業者への新規導入は32件を目標としている。

令和5年4月に完成した河北郡市クリーンセンターで焼却熱を利用した発電を行い、余剰電力を公共施設で利用している。

Q 防災に関する再エネの利用方法について。

A 災害時の停電に蓄電池システムが有効であり、設置補助金についてさらに啓発に努める。

質問 2

学校安全ボランティアの体制を把握しているか

市内6小学校区で308名が構成員として登録
Q 交通安全見守り隊などの学校安全ボランティアの体制を把握しているのか。

A 教育長 市内6小学校区では様々な名称でボランティア活動されており、計308名が構成員の

登録で、事故対応の保険も負担なしで加入している。

Q 交通安全見守り隊の担い手不足解消に有償ボランティアやシルバー人材を活用する考えは。

A 地域の善意に基づくボランティアとして定着しており、まずはPRで活動の輪を広げ、地域の実情に応じた支援の在り方を研究していく。

Q スクールゾーンにおける交通安全対策の強化の考えは。

A 市通学路安全推進協議会を通じ、通学路全体の安全対策を講じてきた。見守り活動を通じた『地域で子どもを育てる精神』の継承を願うとともに、県・警察と連携し交通安全対策の充実・強化に努める。

本頁は、質問者本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています



ゼロカーボンシティ かほく かほく市のロゴマーク



文部科学省発行のハンドブック



坂井 正毅

質問 1

ハラスメント対策としての第三者機関設置は
窓口を充実させ、第三者機関は事案に応じ検討

Q ハラスメント全般に対する社会的関心が高まる中、議会を含めた市政全般の健全な運営とリスク管理が求められている。透明性の高い対応を確保するため、専門家による公平・公正な処理を担う「第三者機関」を設置すべきではないか。

A 市長 第三者機関の設置については、ハラスメント事案が発生した際、中立的な立場から客観的かつ公正な判断を行うため、個々のケースに応じてその都度、設置の可否を判断していく。現時点では、県内他自治体においても常設の事例はないが、事案に即した適切な対応に努める。

Q 深刻な事態に発展する前に、未然に相談や苦情を受け付ける窓口を設けることが重要ではないか。

A ハラスメント防止マニュアルの整備に併せ、職員専用の相談窓口を設置した。本人だけでなく上司や同僚、第三者からの匿名相談も可能としている。相談方法は面談、電話、メール、手紙、FAXなど多様な媒体を用意し、心理的負担を軽減して相談しやすい環境を整えている。今後も社会情勢や実態に即した対策を積極的に進め、職員が安心して職務に従事できる環境を確保することで、行政サービスの向上に繋げていきたい。



カスタマーハラスメントの研修

本頁は、質問者本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています

一般質問



高橋 成典

質問 1

市の防災資機材整備は
計画見直しの中で検討する

Q 今後の防災整備計画で、キッチンカーやトイレカー、防災対応車や災害防災ラジオなどの整備は。 A 地域政策部長 今後想定される被害に備え、キッチンカー、トイレカー、防災対応車、防災ラジオなどの資機材の整備は、計画の見直しを進める中で検討する。

Q 「能登半島地震による被災者への医療費など免除復活を求める請願」が、かほく市をはじめ、内灘町、宝達志水町、羽咋市、志賀町、珠洲市で全会一致で採択された。市としても国・県に要望すべきではないか。

A 健康福祉部長 今のところ市から声をかける予定はない。

質問 3

志賀原発敷地内に活断層の疑い
国、県、北電の動向を注視

Q 国土地理院は、北陸電力が稼働再開を目指す志賀原発の敷



志賀原発の建屋

Q 健康福祉部長 今のところ市から声をかける予定はない。

質問 4

また、国、県及び北陸電力の動向を注視していく。

A 市長 今後とも原子力規制委員会の審査、国土地理院が公開した活断層図に関する評価。また、国、県及び北陸電力の動向を注視していく。

市のハラスメント防止対策は
相談できる環境を確保

Q 能美市では職員がパワハラを受け、昨年10月に自殺した。また、小松市では、ハラスメントを排除するために定期的な調査をし、職員が安心して働ける環境を整備することで、市民の信頼を得ている。

A 総務部長 令和7年度中に策定予定のハラスメントへの対応を踏まえ、相談できる環境を確保し、職場の状況や社会情勢の変化を踏まえ、マニュアルの周知や研修などに努めていく。

本頁は、質問者本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています

一般質問



新たに配備された給水車

質問 2

議会映像



高井篤志

質問1

観光資源の活用と誘客促進策は
既存資源を磨き上げ、民間や近隣と連携する

Q かほく市の観光資源の市内外への効果的な発信や、滞在時間を延ばす体験・周遊施策、SNS活用、近隣自治体との広域連携による外国人や若年層の誘客について。

A 市長 P.F.Uブルーキャッツを活用したスポーツ観光や、民間企業による体験・周遊型ツアーが

進展し、地域活性化への効果が期待されている。

今後民間と連携した支援を継続し、SNSによるPRや近隣自治体との広域連携を推進する。既存資源の磨き上げや観光需要の分散化を図り、外国人や若年層の誘致に努める。

質問2

これまでのDX推進の成果と、認識している課題は

A 行政運営の持続可能性とサービス向上の観点から、具体的な取組成果と現在抱える課題や生成AI活用など今後の推進策は。

総務部長 これまではDX推進の成果と、認識している課題は、利便性向上と効率化を両立し、人に優しいデジタル化を推進

進計画のもと、手続のオンライン化や防災アプリ導入、AIによる議事録作成など、市民の利便性向上と業務改革を推進した。

今後はデジタル人材の育成や業務フローの見直しを重点課題とし、生成AI等の先端技術や国の制度を活用して、行政サービスのさらなる高度化を図る。

質問3

投票率向上のため、投票済証明書を導入せよ

若年層の政治参加を促すため、商店街の特典等に活用できる「投票済証明書」の導入を問う。あわせて現在の取組状況と今後の投票率向上策を求めらる。

総務部長 投票済証明書は、公職選挙法に根拠がなく、利益誘導や不利益発生懸念があるため発行していない。



投票率の向上を

一方、投票率向上に向けては、広報紙や防災無線での周知に加え、大学祭での啓発や中学校での模擬投票、スポーツイベントとの連携などを実施している。今後証明書の発行予定はないが、若年層への啓発を強化し、他自治体の取り組みも参考に投票率の向上につなげていく。

本頁は、質問者本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています

一般質問

議会映像



池田義治

質問1

避難所の鍵ボックス設置の詳細は
全ての小中学校体育館入口に設置する

Q 能登半島地震の際、住民が避難所に駆けつけても、開いていなかったため、窓ガラスを壊して中に入るが発生した。これを防ぐため、揺れを感知し、自動解錠機能が付いた鍵ボックスを設置すると聞かすが、設置場所、種類、仕様、周知方法は。

A 地域政策部長 鍵ボックスは、全小中学校体育館の入口周辺に設置する。

公民館等の緊急避難場所への設置は、自主防災組織と協議し、検討する。

震度5弱で自動解錠の機能が付いている。ダイヤルや専用鍵で解錠できる機能も備えている。カバーを開放すると防犯ベルが



避難所鍵ボックス(宇ノ気小)

鳴る機能が付いている。

ホームページや防災アプリで周知するほか、自主防災組織や防災士対象の訓練や研修会を通じ、取り扱いを説明する。

質問2

こども園の主食の無償化を

現在、考えていない
3〜5歳児保育で、副食費(おかず代)は無償化されているが、主食(ごはん)は持参になっている。この主食費にかかる金額はどのくらいか。

A 市長 約1000人の対象では、年間約1500万円必要。無償化できないか。



主食の無償化を

A 主食は、各家庭負担との国方針に準じ、こども園での提供や無償化を行う予定はない。

質問3

紙おむつの無償化を
現在、考えていない

紙おむつ及びお尻拭きは、参加定額制サービス利用となっているが、利用者は何割いるか。

A 紙おむつは、約20%がサブスク登録している。

紙おむつ及びお尻拭きを無償化する場合の予算はどれ程か。

A 公費対応すると約1160万円必要。無償化できないか。紙おむつの使用時期や枚数の個人差が大きいことや園児毎にメーカーや種類が異なり、画一的に無償化運用することは困難。

本頁は、質問者本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています